



アサギマダラおいでませ作戦（赤崎小学校、本山小学校）

「竜王山にアサギマダラを」と両校の児童が毎年アサギマダラの好むヒヨドリバナを植え付けています。昨年からは、それぞれの学校でヒヨドリバナの種まきをして苗を育てることにしました。今年は苗が途中で枯れたり思うように育たなかったりしましたが、約1500本の苗を用意でき、地域の方から植え方を教わって山腹の花壇に1本1本ていねいに植えていきました。植え終わった子どもたちは「竜王山にアサギマダラがたくさん飛んでくるといいな」「秋にアサギマダラを空に放すことが楽しみ」などと話していました。



商店街フィールドワーク（厚狭小学校）

厚狭小学校の5年生は、『つくろう未来の厚狭のまち』をテーマにまちづくりについて考える学習を行っています。そこで、まず初めに厚狭商店街の過去を知るため、商店街に関わりのある方から昔のまちの様子や思い出等を聞き取りました。子どもたちは、以前はいろいろな店があったが、平成20年の水害で止める店が増えさみしくなった、空き地に住宅や店ができてもっとにぎやかになってほしいなどの声から、地域の方の思いが伝わってきたと話していました。2学期には自分たちにできることを学習する予定です。



コミュニティ会議（高千帆小学校）

高千帆小学校では、学校運営協議会の委員と保護者、委員会の代表児童が知・徳・体の部会に分かれて、高千帆中学校区共通の取組事項である学習習慣の育成、すすんであいさつ、規則正しい生活習慣の形成と体力向上について協議しました。子どもたちは、多くの大人の中で大人の見解を参考にしながら考えたことを自分の言葉でしっかり発言していました。委員や保護者も、子どもたちに笑顔で安心感を与えたり子どもたちが伝えたいことを補ったりして、次代の担い手を育もうという温かさが感じられました。

